

# KRC WEB REPORT

## 徒然想

リオでのパラリンピックも連日熱く盛り上がり、素晴らしい大会になったようです。しかし国によっては、負傷兵の戦地復帰プログラムの一環としてパラリンピック参加を支援している側面もあるようです。負傷した兵士が見事に復活して活躍している姿を見せて、他の兵士や負傷兵の士気を高めようという狙いもあるそうです。正直なところ、残念な気持ちになりました。どうか、オリンピックやパラリンピックが“平和のための祭典”であり続けてほしいと思う次第です。

## TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

### 第71回土木学会全国大会への参加報告 (報告:企画開発部 濱田弘志)



平成28年9月7～9日の3日間で、東北大学川内北キャンパス 仙台国際センター他会場にて、第71回土木学会全国大会が開催されました。当社は、当社関係の発表を含め、7編の発表を行いました。（「光学的計測手法の土木遺産保存での利活用」「新仙台火力発電所PC-LNG地上タンクのコンクリートの温度ひび割れ対策の有効性評価」「コンクリート橋の維持管理のための3Dモデリングと実計測の活用」「省電力型最大応答部材角測定装置の開発」「橋梁の維持管理の高度化・モニタリング技術の検証(上津屋橋―流れ橋―)」「EMセンサーによる外ケーブル補強工法のケーブル張力モニタリング」「無人航空機(ドローン)の道路施設管理への展開(京都府:八雲橋・大津南郷宇治線)」: [詳しくは当社HPをご覧ください](#))

東北での土木学会の開催は平成20年以来8年ぶりで、東日本大震災、関東・東北豪雨の後ということもあり「復興、そして創生へ～土木の力で地域を元気に～」をテーマとした大会でした。また、昨年12月に開通されたばかりの、仙台駅から接続され大学キャンパス内を通る仙台市営地下鉄東西線等により、仙台駅と大学周辺を結ぶ交通網も強化されていました。今後も大学周辺では新しい道路・建築物等が建設予定とのことでした。

私は、「EMセンサーによる外ケーブル補強工法のケーブル張力モニタリング」と題して発表いたしました。EMセンサーは、PC橋梁等の棒状鋼材の応力を計測する技術として、これまで新設橋梁等の“施工管理”時に多数ご採用いただいてきました。耐久性にも優れたセンサーで、緊張力導入後の長期的なケーブル張力モニタリングが可能であることから、今後は補強工法等の“維持管理”手法への展開が期待されます。そのような状況の中で、EMセンサーを“外ケーブル補強工法”へ適用した事例(千葉県館山大橋への適用)と今後の展開についてまとめ、発表いたしました。



当社の論文発表の様子

今回の土木学会に参加して、老朽化の進む社会インフラの“維持管理”をどう進めていくかということへの関心が、社会の中で非常に高くなっていることを強く実感することができました。今後、EMセンサーが“維持管理”のひとつの手段である“センサーを用いたモニタリング手法”として、ますます皆様のお役に立てるよう邁進していきたいと思っております。

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせ先: [krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>